

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
ニューツーリズム論	2	後期	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(さかもと ゆうき) 坂本 優紀	初回の授業で説明します。			

(英文科目名 Practices in New Tourism)

授業の概要

ニューツーリズムとは、①テーマ性が強く、②団体旅行から個人やグループが中心となる旅行形態の観光です。近年の旅行形態はニューツーリズム的な性格が強く、観光のホスト・ゲストの双方に着目しながら観光現象を理解する必要があります。本講義では、ニューツーリズムと称される様々な観光を取り上げ、その特徴を解説します。また、講義の中では受講生同士でのディスカッションも実施し、ニューツーリズムを多様な視点で捉えることを目標とします。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ニューツーリズムを理解し、ホスト・ゲストの双方にとって持続的な観光を探っていきます。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1) 知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	○	ニューツーリズムと称される、それぞれのツーリズムの特徴を説明することができる。
(2) 汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	◎	ニューツーリズムによって変化した観光形態が与えた観光地への影響を説明し、今後の観光に対する自分の考えを表現できる。
(3) 態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。		
(4) 総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。		

授業の方法・講義手法の概要

講義とグループディスカッション

授業期間全体を通じた授業の進め方

回

内容

事前学修／事後学修

1	講義ガイダンス	事前学修:シラバスの用語の確認(90分) 事後学修:第1回目の講義資料の復習(90分)
2	ニューツーリズムとは①	事前学修:ニューツーリズムについて調べる(90分) 事後学修:第2回目の講義資料の復習(90分)
3	ニューツーリズムとは②	事前学修:ニューツーリズムの種類と具体的な事例を調べる(90分) 事後学修:第3回目の講義資料の復習(90分)
4	コンテンツ・ツーリズム①	事前学修:コンテンツ・ツーリズムの事例を調べる(90分) 事後学修:第4回目の講義資料の復習(90分)
5	コンテンツ・ツーリズム②	事前学修:コンテンツ・ツーリズムの事例を調べる(90分) 事後学修:第5回目の講義資料の復習(90分)
6	エコ・ツーリズム	事前学修:エコ・ツーリズムの事例を調べる(90分) 事後学修:第6回目の講義資料の復習(90分)
7	スポーツ・ツーリズム	事前学修:スポーツ・ツーリズムの事例を調べる(90分) 事後学修:第7回目の講義資料の復習(90分)
8	ニューツーリズムの具体例を考える(グループディスカッション)	事前学修:これまでの講義内容の確認(90分) 事後学修:グループディスカッションの内容をまとめる(90分)
9	ヘリテージ・ツーリズム	事前学修:ヘリテージ・ツーリズムの事例を調べる(90分) 事後学修:第9回目の講義資料の復習(90分)
10	長期滞在型観光(ロングステイ)	事前学修:ロングステイの事例を調べる(90分) 事後学修:第10回目の講義資料の復習(90分)
11	文化観光	事前学修:文化を観光資源にしている事例を調べる(90分) 事後学修:第11回目の講義資料の復習(90分)
12	都市と農山漁村との交流型観光	事前学修:交流型観光の事例を調べる(90分) 事後学修:第12回目の講義資料の復習(90分)
13	ニューツーリズムのメリット・デメリット(グループディスカッション)	事前学修:ニューツーリズムの観光形

		態をまとめる(90分) 事後学修:グループディスカッションの内容をまとめる(90分)
14	ニューツーリズムのメリットとデメリットまとめ	事前学修:グループディスカッションの内容を復習する(90分) 事後学修:第14回目の講義資料の復習(90分)
15	講義まとめ	事前学修:これまでの講義内容の確認(90分) 事後学修:全講義の復習(90分)

成績評価の方法・基準

期末試験(60%)、講義時間中のコメントシートと発言(40%)により総合的に評価します。

指定教科書

特になし。

参考文献等

適宜紹介します。

履修上の留意点

日常的に観光に関するニュースに接し、観光を現象として捉えてください。また、積極的に観光地に赴き、観光やニューツーリズムを体験するようにしてください。

実務経験